

## (一社) SDGs市民社会ネットワーク

# 日本における「持続可能な開発目標」(SDGs)の主流化に向けた国内外の連携強化と政策提言

活動地域  日本全域

プラットフォーム助成  
3年目  
国際会議

SDGs指針改定  
パブコメ応募件数 **303件**

SDGs達成に向けた  
広報連携活動 **36都道府県**

今年度計画の達成度 **85%**

目標達成度 **85%**



SDGs推進本部に提言書を提出

### 苦労した点と工夫した点

#### ■ 苦労した点

SDGsの認知は広がったが、市民社会(特に、NPO/NGO)の具体的なテーマ別、ゴール別の課題を越えた取組みにまで、届かなかった。

#### ■ 工夫した点

印刷物の作成による広報や報告については、その対象者を地方や国際社会にも広げ、また多くの人へのアクセシビリティを確保するためにもWebと紙のメリハリをつけた。

### 課題

持続可能な社会の2030年までの実現を目指した「持続可能な開発目標(SDGs)」が主流化しておらず、認知度が低く、ステークホルダー間連携にも課題がある。

### 目標

政府の「SDGs実施指針」改定がマルチ・ステークホルダー協働の取組みでなされている。また、SDGsに関わる日本の市民社会が、世界の市民社会と連携している。

### 活動内容と成果

「SDGs実施指針の改定」について、9月には当ネットワークが事務局を担い、SDGs推進円卓会議の各団体と連携したフォーラムを実施するなど協働事業を実施した。また、指針改定のパブリックコメントに際して「パブコメガイド」を作成し、多くの団体・個人に向けて広報を行った。改定後にもマルチステークホルダーによる総括を行った。

また、国連「持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム」(HLPF)、SDGサミットに参加し北東アジア5か国の宣言を行ったり、大阪G20サミットのC20事務局を担い、世界の市民社会と連携を深め、SDGs視点の発信を行った。



国連本部での市民社会団体フォーラム



主催フォーラム: SDGsを語る会

### 全助成期間の活動を振り返って

3年間の本事業の主体は、SDGsの主流化を、インフルエンサーネットワークの構築や先導的な事例開発を通して進めることであり、それらの活動はネットワークの活用によって、分野横断的に、広域に広がっている。また、国際的な市民社会のネットワークに参加して連携を強化することで、SDGsを取り巻く質の高い情報の管理が可能になった。SDGs達成に向け、市民社会からの「誰一人取り残さない」視点を社会に伝えてきた。

〒102-0072  
東京都千代田区飯田橋1-7-10 山京ビル本館604号  
電話: 03-5357-1773  
E-mail: office@sdgs-japan.net  
HP: <https://www.sdgs-japan.net/>



今後の  
展望

SDGsの認知は広がってきたが、「誰一人取り残さない」、「貧困、格差をなくす」、「つづかない社会を続く社会に変える」という市民視点でのSDGsが主流化したわけではない。達成期限まであと10年しかないという強い危機感をもち、市民社会に関心のあるより多くの方々とともにSDGs達成に向けて邁進したい。そのため、政策提言活動と普及啓発活動を継続的に、安定的に続けていく。